

令和6年2月29日

保護者様
学校関係者様

渋谷区立富谷小学校
校長 石川 亜由美

令和5年度 学校評価のアンケート結果報告

日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

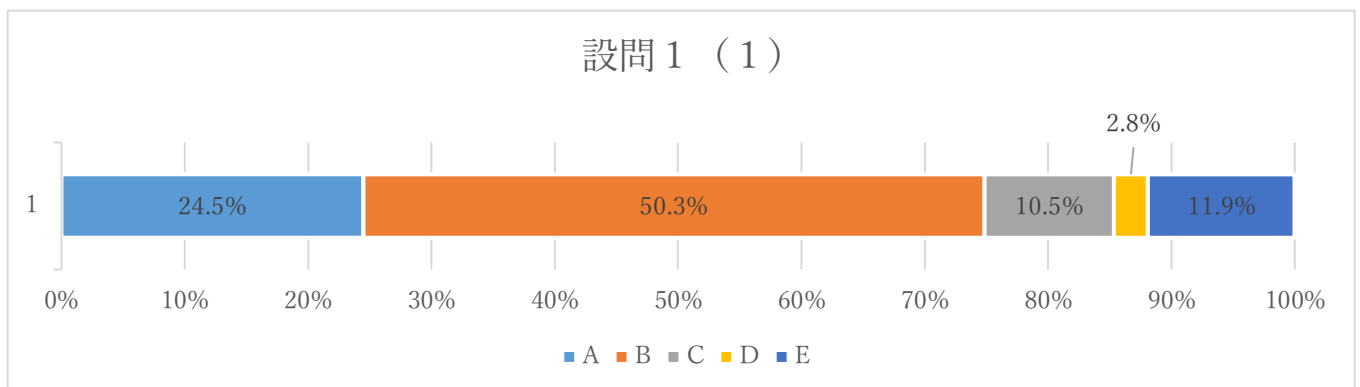
学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので報告いたします。お寄せいただいたご意見を参考に、次年度の教育計画を立てております。今後も、保護者・地域の皆様と共に富谷小学校の教育活動の充実に一層努力を続けてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

【 アンケート回収 142 件／ アンケート依頼 (保護者 465+学校関係者 14)件 回答率 約 30% 】

◆各質問項目に対する回答は下のような意味を表しています。グラフを参考に評価の結果をご覧ください。

水色:十分達成されている オレンジ色:達成されている
灰色:あまり達成されていない 黄色:達成されていない 青色:わからない

1-1 お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。



- 宿題もタブレット学習もよくやっている。
- 授業内容に意欲的に取り組んでおり、日々の家庭学習シートもしっかり予定と実行をしている。
- 宿題は自主的に取り組んでいる。
- タブレットを適宜活用して、個別最適な学び、協働的な学びの実現に向かっていると思う。
- タブレット内のアプリでヨモッカやビスケット、また先生からのおすすめ学習ウェブサイトでのタイピング学習に楽しく取り組んでいる。
- 子供たちがタブレットと教科書、授業の内容などをうまく組み合わせて包括的な学びが出来ていると感じています。
- デジタル教科書の活用について良い面、更に吟味していく面があるように思います。今は紙ベースの教科書も併用しているので余り心配はないかと思いますが、紙ベースで見てこそ子供達の思考力、判断力、想像力に訴えるものがあるように思います。

△ムラがあるかと思う。

△声をかけなければやらない。・自らすることはあまりありません。

△家庭学習においてタブレットなどの活用は見られない。例えばデジタルと宿題の連携は見受けられない。

△興味のあるものは取り組むが、興味の無いものには取り組まない

△実際の判断は、本件回答者も子どもたちが使う DX に触れたり、オンライン上での交流をしたりすることが必要であると考えます。

△タブレットが重く通学の負担になっているように思う。また視力への影響も気になる。

△自宅でのタブレットの時間制限がないので、自主的に使用するのはいいいが視力や姿勢など心配になることがある。

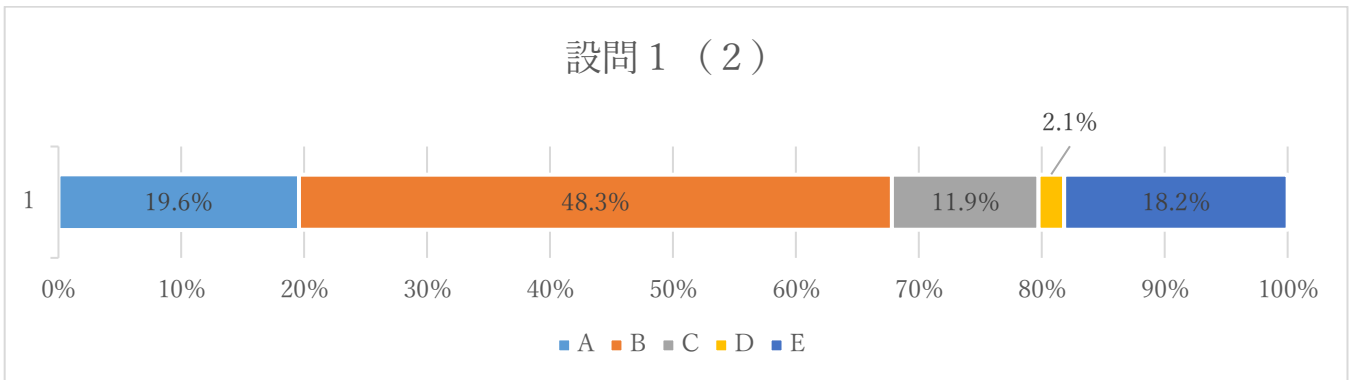
△授業が楽しい、楽しみだという報告を聞いてみたい。

本校では「日常の授業を変える」を校内研究のテーマにし「学習意欲を高める導入の工夫」「児童の思考をゆさぶる発問」「児童の思考に基づく授業展開」の分科会を設け、授業改善に取り組んできました。今年度の成果を生かし、今後も児童が主体的に取り組む授業となるよう努めていきます。

児童が主体的に学習に向かうためには、児童自身が学習方法や内容を調整しながら学習を進めていく能力を育てることが大切です。本校では、下学年段階から学び方を学べるようにし、学年が進むに従って自分で計画を立てて学習できるようにすることを目指しています。家庭学習もその一つとして、児童自身が計画的に学習に取り組むように段階を追って指導しています。ご協力をお願いします。

学んだことを家庭でより習熟できるように AI 型ドリル(キュービナ等)やデジタル図書読み放題サービス(Yomokka!)等の活用を推進しています。

1-2 学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。



○ふたばが終了して心配していましたがこまめな面談などのケアで意見交換出来て助かっています。

○算数のクラス分けは進度に合わせてとてもいい取り組みだと思いましたが、後期はないようなので残念です。

○机間指導を行って個別に指導してくださっています。ありがとうございます。

○富谷タイムさせてもらっています。

○子ども一人ひとりにどこまで個別の進度に合わせた教育をして頂いているのかは子どもの話だけでは分からない部分もあるのですが、少なくとも授業中は楽しんで学び、宿題でその内容の理解をチェックできているとは感じております。

△学校で漢検等が受けられたらありがたいです。

△算数のレベル分け方式が他科目でも活用されても良いと思う。

△習熟度別クラスを取り入れて欲しい。

△先生によるところもあると思います。

△先生の休職によって習熟度授業が出来なくなったり、担任が固定しなかったり落ち着かない。

△内容が平易すぎて退屈している科目もあり、レベルに応じた対応や対策があつてよいのではないかな。

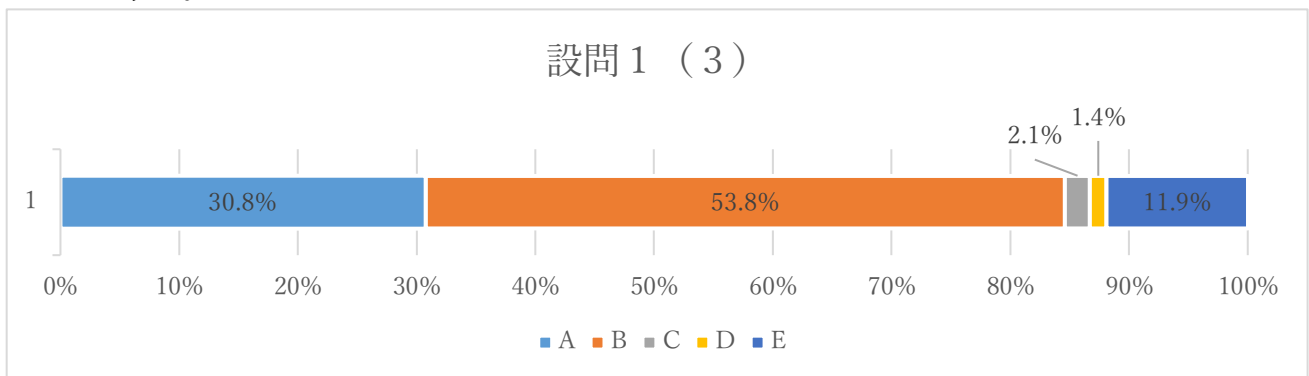
△算数を別の部屋で行ったりしているようですが、進度の度合いなのか不明なため。

△子供も親も特に学習の遅れなどを感じていないので、それが個々に対しての学習支援のおかげなのかどうかはわかりません。

後期は教員の体制が変わったため、3年生以上の算数の習熟度別少人数指導を十分に行うことができません。学年や単元によっては、学級担任が習熟度別指導を行いました。来年度、加配教員がついた際には、学級担任と算数少人数指導担当教員とで学年を習熟度別にグループ編成し、学習方法を工夫して子供により学力が定着するように指導してまいります。

お子さんの学習面でご心配なことがありましたら、担任だけでなく富谷小の教員にいつでもご相談ください。保護者の方からいただいたお話から新たな視点で学習活動を見直し、学校でできる支援、ご家庭で取り組んでいただきたいことについて意見交換し、より良い指導ができるようにしていきます。

1-3 学校は、子供同士で意見交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。



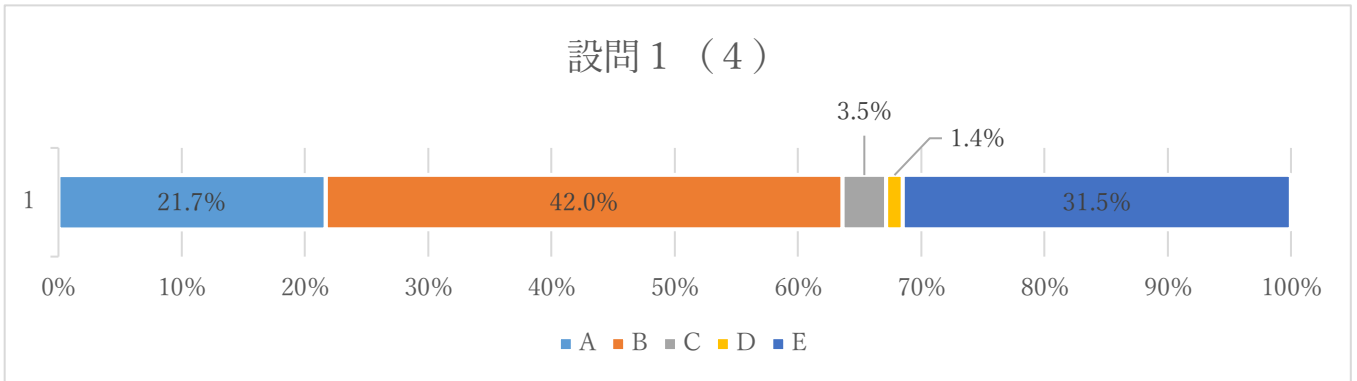
- 一緒に話し合い、ときには意見がぶつかりながらも子供達なりに落とし所を見つけて、協働的対話的に学習していると思います。
- 学活内の「会社」と称するグループの活動や、学内への先生のインタビューなどで、普段の遊びだけでは得られない経験ができていると思う。
- 社会の授業での発表の資料を見せてもらった時に、資料の完成度に驚きました。授業を通じて様々なことを学んでいると感じました。
- 地域のことを調べたりすることに積極的に参加しており楽しそうでした。
- 町探検で、ジュース屋さんに味見させて頂いたとのことで、お砂糖を使っていなくて、身体に良くて美味しかったよと教えてくれました！今度行こう！と凄く喜んでいて、人や地域との交流で素晴らしい体験をさせて頂き感謝いっぱいです。
- 非常にイキイキと楽しんで取り組んでいるようで、嬉しく思っております。
- あまり家庭では聞くことはありませんが、保護者会で先生からお伝えしてくれます。
- 先生たちのインタビューをしてまとめて、発表するなどしていた。
- 学校公開を拝見して児童同士で意見交換して知識を得たり、他者の話を踏まえて考えを深めたり、能動的な学習を展開してくださっていると感じました。
- タブレット学習や、理科、社会、シブヤ未来科の授業の中で子供主導の取り組みが見られて素晴らしいと感じています。

△共同研究授業に馴染めない子のケアは課題に残っていると思います。(クラスとの疎外感、不要感など)

△声の大きい人、主張の強い人の意見が通っているように見える。

児童同士が学習して分かったこと、考えたことなどの学びを交換しながら理解を深めていくことを重視していきます。意見交換の際は話し合うときの人数や座席の配置などを工夫したり、タブレット端末を使用し、個人の学びを学級全体に共有したりするなど児童の実態や学習の内容に合わせて様々な方法を用いて一人一人の学習が深まるようにしてまいります。

1-4 学校は、「シブヤ未来科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。



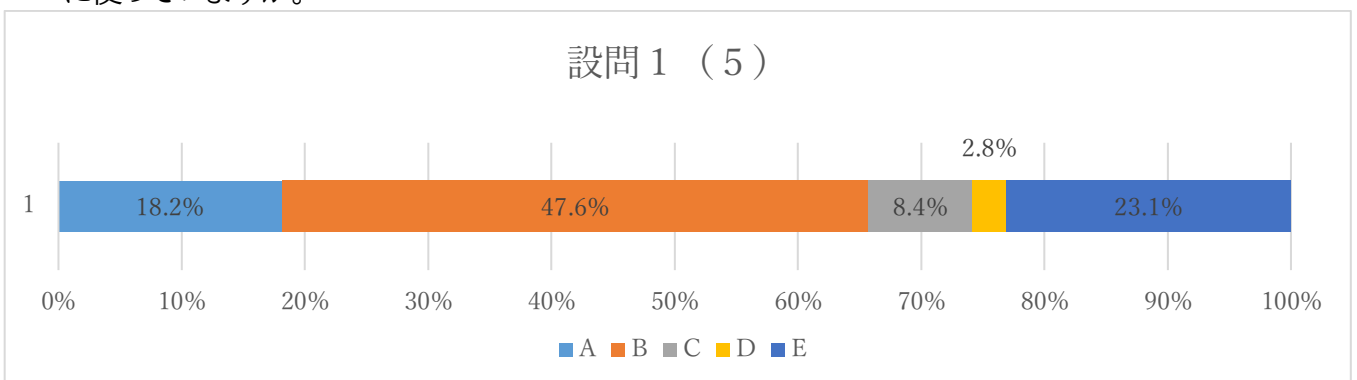
- 保護者から質問したりコミュニケーションを取りながら発表したりしていくスタイルはお互いモチベーションが湧き楽しかった。
- 一年生では機会が少ないようですが、上級生での活動記録を見ると地域貢献の機会が多いと感じられ、上級生になるのが楽しみです。
- 今後の環境問題などに触れてこれから社会のことをさらに深く学ぶ子どもに必要な指導をしてくれています。
- シブヤ未来科が、よくわかりませんが、生活科の町探検でやっていたように見えました。
- クラスごとに差があるかどうかはわかりませんが、息子のクラスでは効果的に進められていると感じています。
未来科はまだスタートしたてで、いろいろ模索されている様子が見られますが、方向性が定まり、コミュニティとの協力が深まって効果をフルに発揮することを期待しています。

- △発言力のある集団のみ活躍できる場にならないよう先の質問のとおりケアは課題としてあるかと思っています。
- △地域のことを知るのには素晴らしいですが、広い視点も必要と思います。
- △高学年では、自発的な活動するなど出来ていると思いますが、低学年では、あまりシブヤ未来科に関しては評価自体が難しいです。
- △親が方向性がまだわかってない気がします。
- △発表を見る機会がないのでわからない。公開授業で発表などがみたい。
- △シブヤ未来科も評価について未知の要素も持っている中で、問題解決学習の評価のねらいは何かと悩みます。

来年度から3年生以上はシブヤ未来科の時間が拡充されます。本校では、主に火曜日・木曜日・金曜日午後のシブヤ未来科【探究の時間】を中心に、探究的な学習を行っていきます。探究的な学習をするために必要な力(探究基礎)「探究の仕方(学習課題の立て方、情報収集の仕方、情報の整理・分析の仕方、まとめ方や発表の仕方など)を身に付ける。」ことから始め、身に付いた力を活用して、「自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり体験したりし、考えたことを発表したり深めたりする。」学習になるように現在カリキュラムの作成をしているところです。課題解決に向けて保護者、地域、企業等の協力を得て様々な人と関わりながら探究的な学習の充実を図りたいと考えています。

来年度は土曜日授業で「探究的な学習」の取組を2回公開する予定です。

1-5 学校は、前出の質問(1-1)から(1-4)の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。



- 学習発表会の音楽もタブレットを開いて音楽をかけながら家で練習していました。
- 気がつくと、家でもタブレットを使用して学習したり、本を読んだり、何か調べたりしているので、とてもよく活用しております。
- こどもが楽しそうにやっている
- 自宅でも使いこなしている様子を見る限り、タブレットが活用されていると思います。
- 子供たちの視力の悪化傾向が気になりますが、学びの効果は見えてきているかと感じます。

△タブレット入力している生徒が多かった。ただタブレットに集中してしまうと学習内容への時間配分が分散してしまうので、メリハリがつけられるようになることが課題かと感じました

△端末自体が重いので、自宅へは持ち帰らせたくありません。

△タブレットで調べていると規制がかかって見られないことが多いようです。

△タブレットのバッテリーが古くすぐ充電が切れるのに困っています

△パワポなどを有効活用出来ていると思います。時折思うのは、普段お仕事や大学生が研究資料発表に使うような実物を見せてあげられる機会があるとより、実践的にはこんな使い方や見せ方をすると学びになるかと思っています。

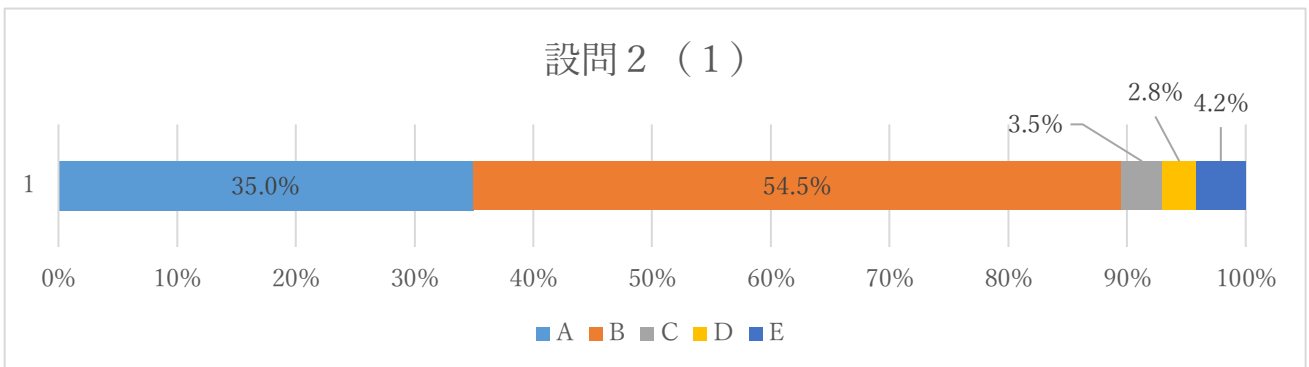
△写真を撮るぐらいしか利用していないように見えます。

△実際の判断は回答者も子どもたちと同じタブレットに触れなければ出来ないはずです。

今年度は地域学校協働活動事業を活用し、1年生のタブレット端末の使い方の基礎指導に東海大学の学生にボランティアとして参加してもらいました。たくさんのボランティアが入ることできめ細かく指導することができました。学年に応じた使いやすいソフトを使用して文章の作成や情報共有などを行い、タブレット端末の身近な道具としての活用を進めています。今後も学習だけでなく、特別活動や行事など様々な学校生活の場面でタブレット端末を使用できるように学年に応じた活用を促していきます。

タブレット端末の不具合に関しては学校で対応できないこともありますので教育委員会に引き続き要望を上げていきます。持ち帰りについては、渋谷区としての方針を受け、富谷小学校では家庭学習でも調べ学習や AI 型ドリル、電子図書読み放題サービス(Yomokka!)等を使用して学習を進められるように現状のようにしています。紙媒体の物については、学校保管や家庭で保管などをして、持ち帰る物を減らすようにしています。ご理解のほどよろしくお願いします。

2-1 子供たちは安心して学習に取り組むことができましたか。



○人前で話すのが苦手な娘なので、国語の本読みも小さい声ですが、「(前で発表の時は恥ずかしくて小さい声でも)全員で読む時はとても楽しそうに読んでいる子もいて、先生嬉しいな」と、まずはできる事からやってみようという気にさせてくれるような事を言ってくれているので、娘も安心して過ごしていると思います。(もちろん元気にできた子にもプラスのお声がけもしてくれています)個別に言うのではなく、そのようなお子さんは1人だけではないので、クラス全体が得意な事は色々違う、「みんな違ってみんないい」を綺麗事ではなく日々の授業で具現化してくださっています。ありがとうございます。

○勉強は嫌いだけど、学校は好きと言っています。

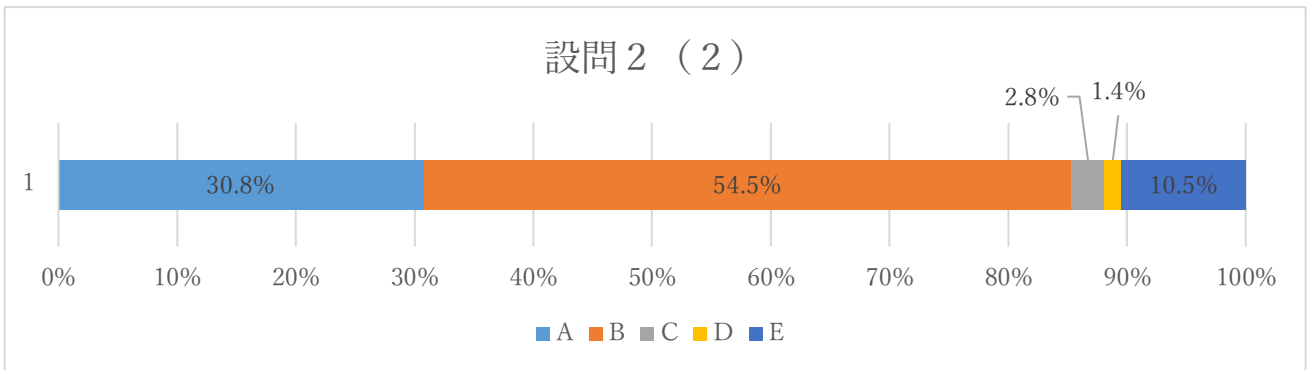
○安心安全の捉え方や捉える範囲はとても広いと思います。特にいじめも含めて子供達の内面までに踏み込む評価は難しいと思います。より一層、一人ひとりによりそっていかれると言う期待を込めて、B 評価にしました。

○学校の安全対策は行き届いております。

- △今後長期的な建て替え計画があると思いますがお手洗いが汚いことと、覗き込めしてしまう入口が気になります。
- △多感な時期なので異性から暴言を吐かれたりすることだけでも学校に行きたくないと感じてしまう時期があります。担任の先生には話さないでほしいと言われてたりすると保護者としてどう介入してあげるべきか悩むことがあります。
- △授業や学習の邪魔をするお子さんがいるようで、家庭で不満を漏らすことがあります。
- △先生に何も言わずに教室を出て行く子どもがいるのは怖いなど思いました。
- △入り口のセキュリティや、通学の安全面ではまだ課題が多いかと考えます。

学校が子供たちにとって安心して過ごせる場所であるために、子供たちの様子を丁寧に見取り、学校全体で対応していきます。また、子供が安心して学習に取り組めるように人間関係づくりや指導を行っていきます。施設の不具合等に関しては学校として対応できることは確実にを行うとともに、区に改善の要望を引き続き行っていきます。

2-2 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。

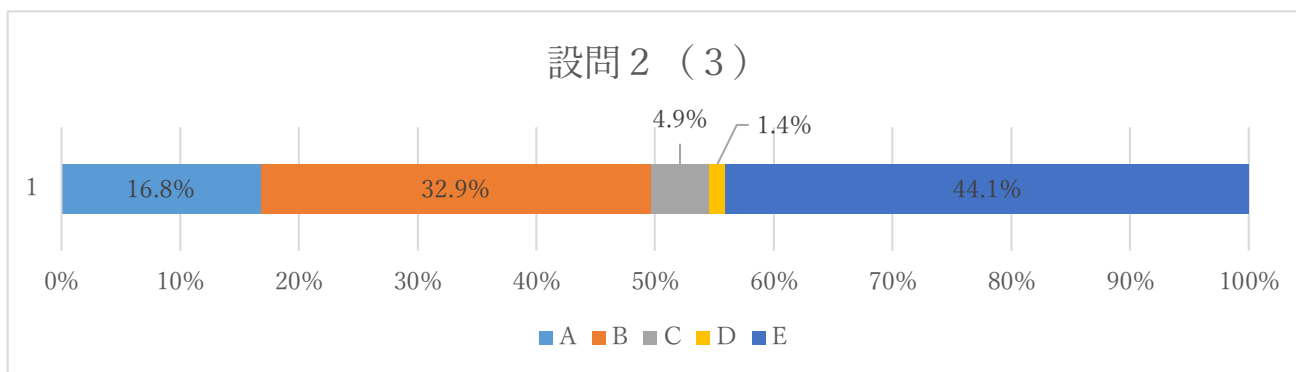


- お友達関係のことで担任の先生に相談させていただきましたが、相談だけで終わりではなく引き続き様子を確認して下さっていることに安心を感じます。
- 気持ちに寄り添って話を聞いて下さります。
- 相談させていただきやすい環境だと思います。
- 特に情緒級支援には先生方の発達障害への理解も非常に高く安心して学校生活を任せております
- 連絡帳に学校生活で気になることを記載しますと、担任の先生は即座に対応して下さり、大変感謝しております。
- ご相談した内容については丁寧に対応頂きました。
- 学校側の努力は可視化できて良いかと考えます。学校と保護者のコミュニケーションをいかに円滑に進めるかをもう少し考えたいと思います。
- 時々お見受けする保護者の表情が明るいので、満足されていると思います。

△発信はしてくれているとは思いますが、一方通行感があります。

学校はお子さんや保護者の相談に誠実に対応しているという評価が多かった一方、そう感じていない方もいらっしゃいました。保護者、学校関係者の方に安心していただけるように努めてまいります。不安やご心配に感じることがありましたらいつでもご相談ください。担任や個人の教職員に任せるのではなく学校として対応をまいります。また、どの教職員に相談しても大丈夫という環境で保護者の方と共に子供たちを育てていきます。

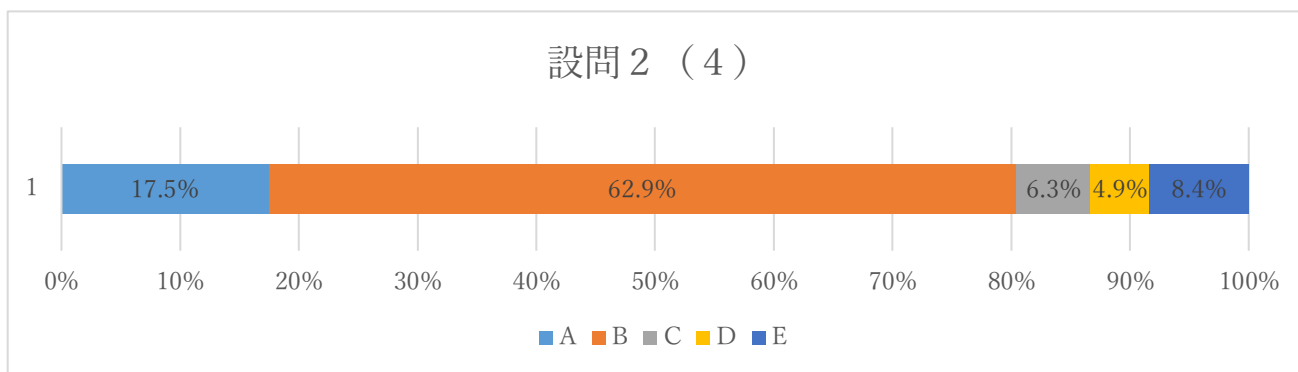
2-3 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。



- 大きな問題が起きる前の小さな芽の時点からよく気配りされケアしていただいていると感じます
 - 子供同士のいじめはないと思います。
 - 子どもの立ち歩きに対して、「殺すぞ」と言われたり、殴られたりした件は、早々にご対応いただきました。一方で、その発言をしたお子さんが、よく遅刻する子に対して「なんで遅刻するんだよ」と詰め寄っていた、という話を聞き、改善されていないように思いました。うちの子どもは、強い発言をする子には、力では敵わない(止めたりしたら殴られる)ので、遅刻する子を助けられなかった、と話しています。そのような力関係が出来上がっていることを危惧しています。
- △この点については、学校も先生方もかなり努力されていると感じています。ただそれが保護者や子ども達にどれほど伝わっているかは、一度意見交換の場を設けてもよいかと考えます。
- △実際はあるのかもしれませんが、子供達からも学校からも特にこう言ったことが起こっていますなどのインプットがなく実際の対応がどうなのかの評価が出来ません。
- △明確ないじめでなくても子供が傷ついてしまうことはあるので、気持ちをなせる環境作りが学校、家庭共に重要かと思っています。

いじめの未然防止、早期発見、早期対応の取組を行っています。いじめを受けたという状況があった際には、引き続き、即時にいじめ対策校内委員会を開いて対応するとともに、必要に応じて外部機関とも協力して対応してまいります。今後も「いじめは絶対に許されない」ということを意識し、子供に「いじめをゆるさない」という気持ちの醸成の取組を続けてまいります。また、多くの目で子供を見守ることが、「いじめをさせない」「いじめに気付く」ことに重要です。学校でも子供の変化があった場合は教職員間、関係保護者の方と情報共有を行い対応しています。お子さんの様子で気になることがあった場合はすぐに、ご相談ください。

2-4 子供たちは、安心・安全な学校生活を送るために、集団生活に必要なきまりや約束が身に付いていますか。

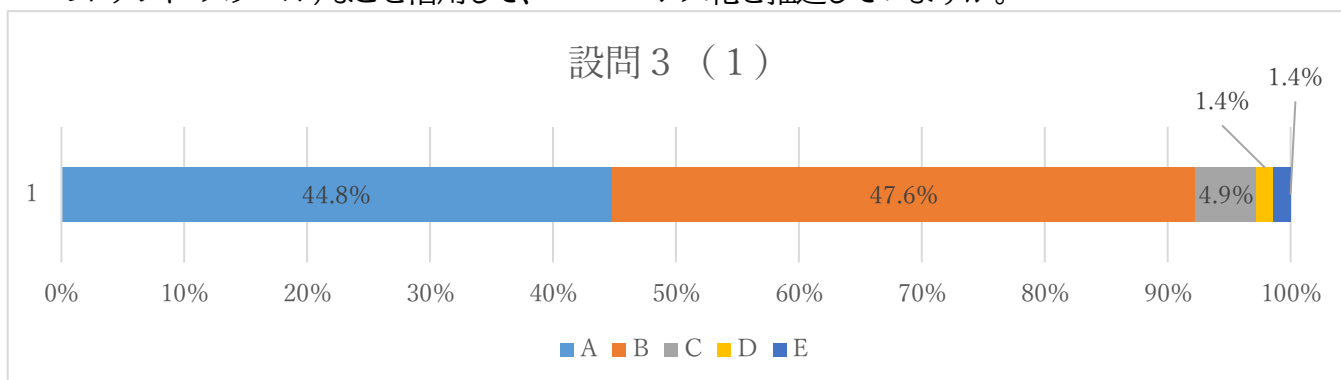


- 子どもたちは不審者訓練等して意識が高まっていると感じます。
- 登下校のお子さん達の様子を拝見すると、十分に出来ているようお見受けします。

△朝や帰りの時間に、校門に立っていらっしゃる先生方に挨拶をしない子どもがいることに驚きました。挨拶は社会生活の基本だと思いますので、子どもの方から自然に挨拶できるようになってくると良いと感じました。
 △通学路以外で帰宅している児童がいることは何か災害などあった際に心配です。
 △いじめ、というぼんやりした言葉ではなく、殺すぞ、といった言葉は脅迫という犯罪だし、殴るという行為は暴行という犯罪であることをしっかり伝えて欲しいです。
 △これは学年にもよるかと思いますが、学校と保護者が協力しながらレベルを高めるべきだと考えます。

教職員で富谷プランを共通理解し、全校で同じ内容を指導しています。年度初めに保護者の皆様にも配布しておりますので、ご確認の上、ご家庭でも指導していただきたく思います。挨拶や言葉遣い等に関しては身近な大人が見本となれるように教職員も心掛けてまいります。
 安全を守れない状況が生じた際には、保護者の方と共に、お子さんの指導にあたってまいります。

3-1 学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home&school(ホーム アンド スクール)などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。

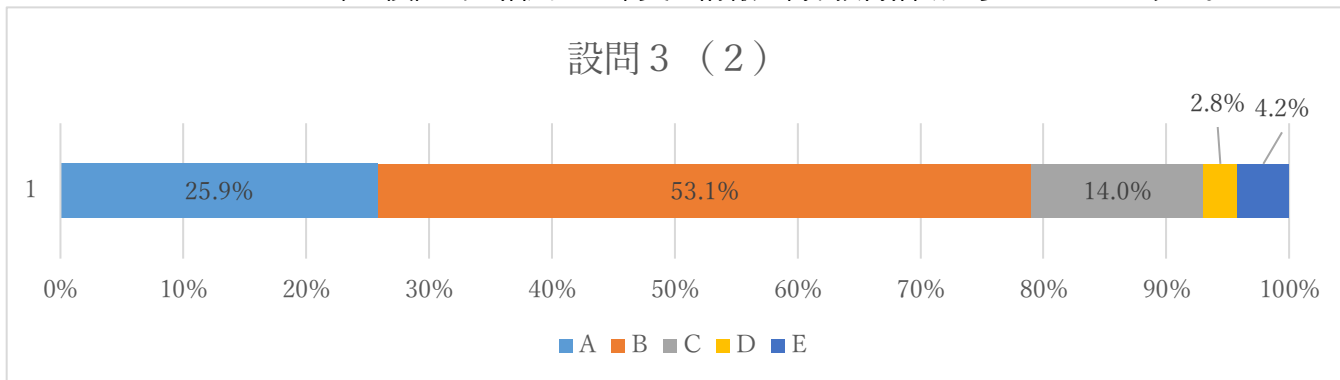


- プリントよりもわかりやすく確実なので安心です。
- 富小だよりは毎回見せて頂いており、学校の考え方や行事等、十分に理解させて頂いています。また HP は適宜見ており、上記と同意見です。

△Home&School は「検索機能が使いづらい」「表示場所が色々あり必要な情報が把握できにくい」「利用しにくいので工夫が必要。」(多数)
 △ペーパーレスで逆に不便になったことがあるのではないかと思います。紙の方が良いと思う時もあります。
 △ハードの利用率の達成より、いかに利用するかが重要で、現状は紙媒体のデジタルへの置き換えという印象が強いです。

※ 3-2と合わせて回答いたします。

3-2 家庭は、学校からのおたよりや配布物、調査等において、学校ホームページやHome&school(ホーム アンド スクール)を積極的に活用して確実に情報を得、教育活動に参加していますか。



○天候の件などでタイムリーにご連絡いただけて便利です。

△お便りとブログが混同するのでお便りだけは通知してほしい。PDF をいちいちダウンロードするのも面倒。

△該当学年のお知らせを受け取れるように設定していますが、配信される側が配信先の設定をしていないのか、関係のない学年のお知らせが届くことがあります。

△件名を(【11/30 まで要回答】、【イベント案内】、【富小4年】)などと工夫することで、より読みやすくなると思いました。また、例えば区の小学校と中学校両方で登録している場合、2年生と通知が来ても、どちらの学校から来ているのか理解しにくく不便に思っています。

△Home&school の閲覧方法がまだ十分に理解できていません。また、文字が読みにくいので、スマホではなくパソコン画面で閲覧できないでしょうか。

△学校の内容とPTA の連絡が Home&School など一本化できると良いかと考えます。

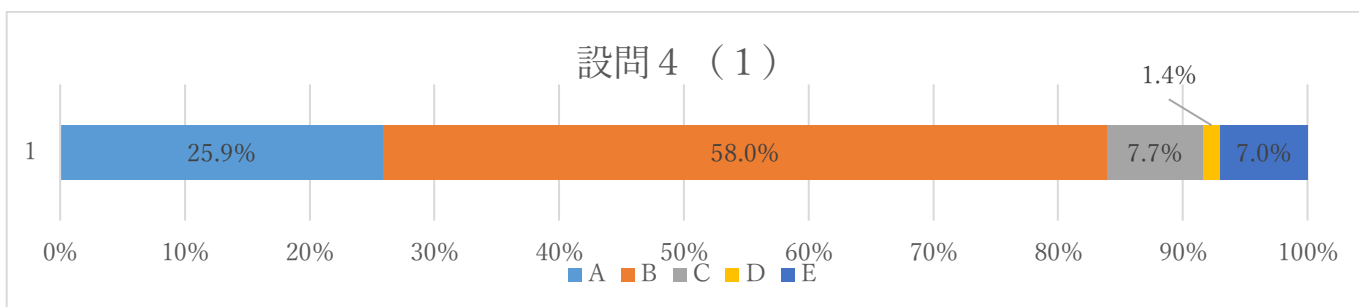
【3-1・3-2 に関して】

Home&School の使いにくさについて多くのご意見をいただきました。渋谷区の採用のため、お便りとブログを分けるなどは学校独自での改善は難しいところですが、ご意見については渋谷区への報告にあげていきます。

ペーパーレスに関しては区よりさらなる推進を求められています。ご理解とご協力をお願いいたします。

配信時のタイトルに関しては富谷小学校の発信と分かるようにタイトルの先頭に【富谷小】などを付けて分かりやすく発信するようにいたします。

4-1 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。



○おたよりで伝わってくるように思います。

○ブログやHP から十分に伝わっていると推測します。

○学年だよりや学校だよりなどで情報発信されていると思います。

△最近、宿題が少なくなった気がします。

△抽象的な言葉が多く、分かりにくい。

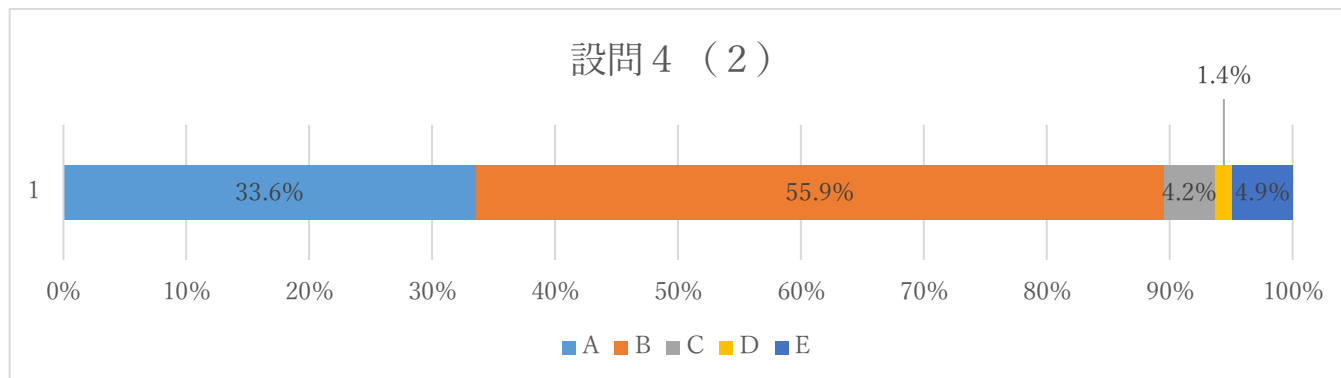
△スポーツフェスティバルが競争性でなくなったのは理解できませんでした。

△保護者会は参加しておりクラスの方針は聞く機会がありますが学校の方針を理解する機会はない。

△富小は頑張っているイメージだが、他校も含めまだまだ出来ことはあるはず。

今後も学校の活動が教育方針の何にあたるのかなどを発信し、保護者、地域の方にさらに教育方針が伝わるようにしていきます。また、各行事や今回のアンケートでいただいたご意見を来年度の教育計画に取り入れて、より良い教育活動にしていきたいと思います。詳しくは3月と4月の保護者会、学校運営協議会でお話いたします。

4-2 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。

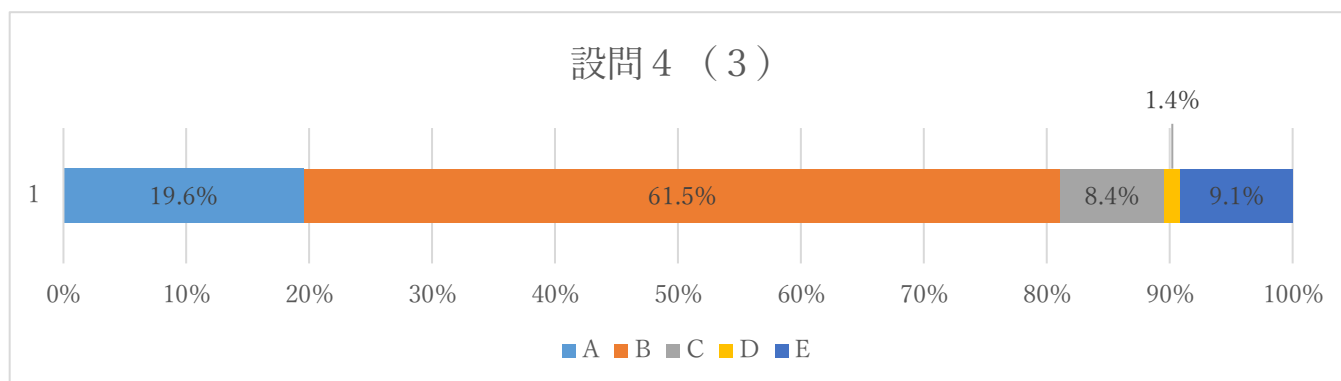


○イベントなどで協力を得ているように見えます。

△地域住民の立場でいうと、もう少し交流の場があってもと思います。

※ 4-3と合わせて回答いたします。

4-3 家庭(や地域)は、学校の教育活動に対して(それぞれの)役割を果たし、連携・協力をしていますか。



○できる範囲で協力しているように見えます。

○昨今は共働きが多いですが、それでも長年地域に住まれて関わっている方も多く、頼りっきりににはなりますが引っ張っていただいていると思います。

○コラボレーションはできているかとおもいます。

△父母ともに勤務しており満足いくように子どもに時間を割いてあげられていないかもしれない。ただ重要なのは子供が満足しているか？もしくはこまったり悩みながら解決策を自ら見つけ出そうとする姿勢かもしれないという相反する考えのもと育児にはジレンマが付き纏います

△家庭学習という大義名分で家庭に放任している気がする。課題が多いときは良いが、一週間に対して課題の数が少なすぎる時がある。タブレットの学習ツールもどこまで出来るとか提示があって良いのでは。

△積極的に協力している家庭もあれば、協力していない家庭もあると思います。

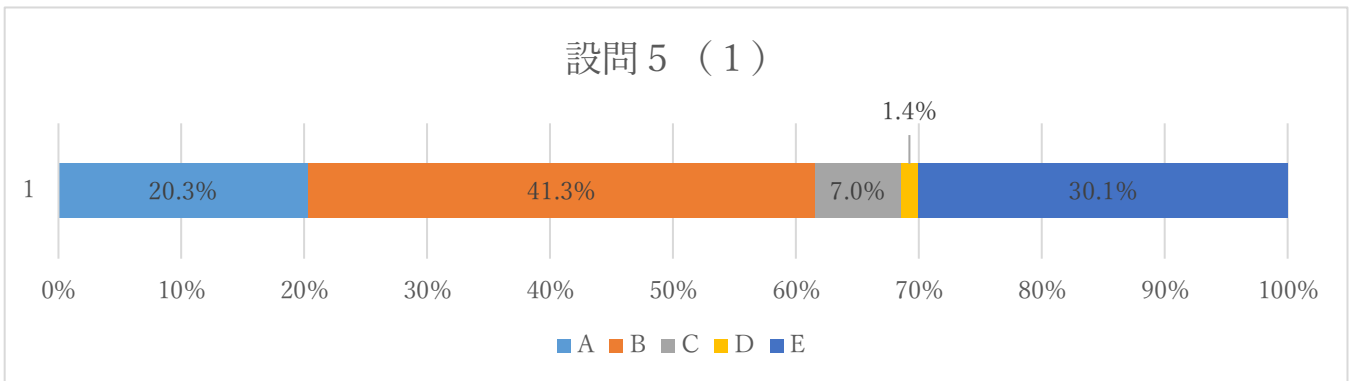
△十分に果たしているかは分かりません。

【4-2-4-3 に関して】

保護者、地域の方に支えられて教育活動を進めることができました。ありがとうございます。来年度から本校では、シブヤ未来科【探究の時間】を中心に地域を生かした探究的な学習を拡充します。今後、ますます、保護者、地域の方との協働連携が必要になってきます。どうぞよろしくをお願いします。

家庭学習については、学年が進むに従い、児童自身が目標を設定し、自分に必要な学習に取り組むことを目指しています。学校では目標を設定し自ら学習に取り組めるよう支援しています。

5-1 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。



○クラスによっても進め方が多少違うようで、担任の先生の特色が現れていて良いと思う。

○当地域は概ね教育環境が良い様に思います。その中で子ども達が明るく過ごしている姿をお見受けします。

△富谷ならではのというのは、やはり公立ですし、トップも定期的に変わるので難しいような気がします。

△どんな特色を出そうとしているか分かりません。

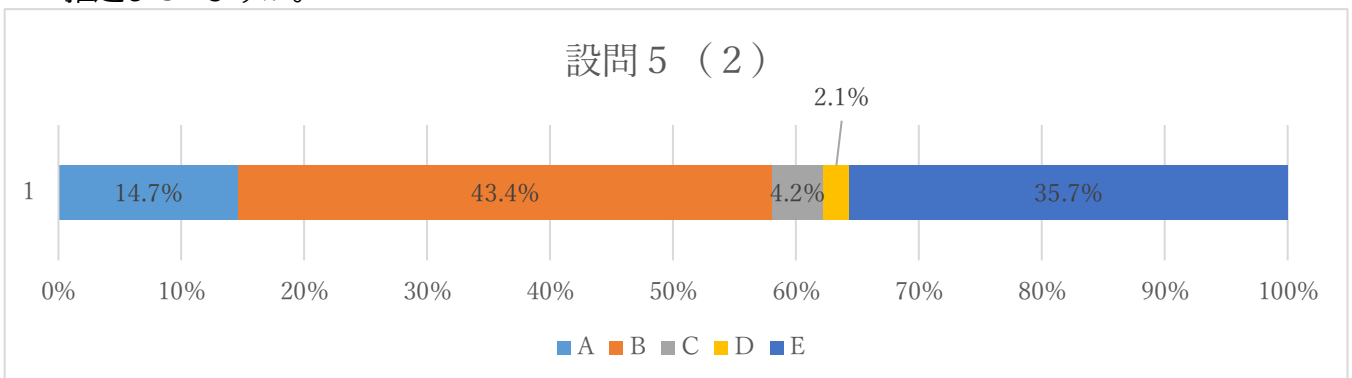
△先生方の負担が過剰にならない程度に、富小とはこんな学校だったなと子供たちが卒業してから語れる何かがあったら面白いのかもかもしれません。ただ重要なのは基本的な日々の生活だと感じるので年に何回か特化したイベントがある(国際交流会のような)という程度でも充分かと考えます

△他校と比較できないので、どこまでがオリジナルの方針か把握できません。

△特色をもっとアピールしてもいいかと思います。あまり伝わっていない気がしています。

「地域と共に活動する学校として、地域を生かした教育活動」「特別支援学級併設校としての交流学習」という、富谷小学校の特色を生かして「富谷小学校だから体験できた」といえる教育活動をさらに行えるようにしていきます。

5-2 学校は、デジタル・シティズンシップが身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。



○まだ過渡期かと思いますが、未来志向のいい傾向が見られるので良いかと思います。

○タブレットの活用のよい面、更に評価を掘り下げる面を注視していかれて下さい。

○立派にご活用とお見受けしています。私達の時代と比較して羨ましく思っています。

△学年や個人によって活用の差があるように思います。

△リテラシーの課題はあるが、もっと踏み込める分野であると考えます。

時代の変化に対応しながら、子供自身が考え、デジタル技術のより良い利活用の仕方や、規範意識を身に付けていくことが必要となります。学校では子供の発達段階に対応して、適切な社会との関わり方の基礎を集団生活の中で学べるようしています。